

第1回ミニセミナーを実施しました



地域支援センター

今年度も小学校や中学校、各事業所等の方々を対象に、ミニセミナーを実施しています。

第1回は9月18日(水)に「障がい者8050／親なき後問題～小児期からの支援について～」というテーマで、地域福祉ネットワークいわき 地域リハビリ推進室室長 木原 秀樹様を講師に招いて実施しました。障がい者の8050問題の現状や、将来の自立のために小児期からできることについて学ぶことができました。今回のミニセミナーを通して学んだことを、今後の児童生徒たちとの関わりに生かしていきたいと思えます。

参加した方々からは、以下のような様々な感想をいただきました。

- ・卒業時の進路のことばかりに目を向けていたが、早期から卒業後の長い生活を見据えての指導が大切であるということが分かった。
- ・8050問題についてや今現在取り組むべきことなどについて知ることができた。
- ・「施設入所から地域へ」という福祉行政の大きな流れの中で、地域の受け皿が質・量ともに足りていないということだったが、その解決に向けた方向性の一つとして今回の木原さんの取り組みがあると思う。「施設入所から地域へ」という大きな流れの中で、困難さを抱えている人の実態について実例などを詳しく知りたいと思った。
- ・小学部段階で将来のイメージをもって、具体的な指導を行う必要があると感じた。
- ・親なき後の生活の場所として、入所施設はもちろんグループホームも十分に空きがない現状だと思った。今後の見通しについて、何かわかればもっと知りたいと感じた。



次回のミニセミナーは、1月15日(水)16:00からです。「生徒の自立に向けた指導、キャリアパスポートについて」というテーマで、本校進路指導部の國田顕應が講演をします。お申し込みは随時受け付けておりますので、ぜひご参加ください。